

所 属	教育委員会	社会教育文化課
担当(係)名	教育文化担当	内線 3577

(款)10教育費 (項)7社会教育費 (目)(4)社会教育施設費
(明細書事業名) 美術館費
美術館改修基本構想作成費

1 事業費 【財源内訳】 【主な用途】
1,000 一般財源 1,000 委託料 937 (改修図面作成等)
(前年度 0)

2 事業目的

開館25年を迎え、県民ニーズの多様化により美術館活動にも変革が求められている。
「ふるさと教育」「文化芸術」の中核施設としての役割を担い、特色ある展示活動を展開するとともに、県民参加の体験・学習を重視した開かれた美術館とする。

3 事業概要

・「岐阜県美術館協議会」からの提言をもとに、構想を作成する委員会を立ち上げ、美術館後援会、県民ギャラリー利用者、美術館ボランティアをはじめ、広く県民の皆様から意見をいただきながら、美術館改修基本構想を作成する。

【提言内容】

本館	・企画展示室及び所蔵品展示室の拡張 ・一般展示室(県民ギャラリー)の充実
別館 (現実習棟)	・県民ギャラリー、ワークショップ等実習室の充実 ・ボランティアルームの新設

・身近な美術館として、県民の皆様を支えられ、活用される施設とするため、基本構想の作成段階から、財源確保、建設、運営までの一連の業務に、多面的に県民の参画を得る整備手法を取り入れ推進する。

【県民の意見収集】来館者アンケート、ホームページの活用 など

4 現状(平成17年度実績)

【昭和57年11月3日開館】

所蔵品	「県ゆかりの作家」「ルドン」を中心に約3,100点
企画展示室	771㎡(近県の平均1,178㎡) 企画展 5回開催
所蔵品展示室	795㎡(近県の平均1,220㎡) 所蔵品展 4回開催
一般展示室(県民ギャラリー)	684㎡ 66団体利用
県民参加の美術館活動	ボランティア参加 延べ250日、750人
ワークショップの開催	延べ92回、6,039人参加